

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	災害に向けての実践力をつけ+ネットワークも作ろう！！初級編「防災力を高めよう—伊那谷の地形と地震の特性を理解して行動するために」
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 飯田ボランティア協会 飯田市松尾代田1709-1
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	421,206円

事業内容

全3日午前・午後を通して5回の講座を行いました。伊那谷の特性を①地質・地形の専門家②気象の専門家から学び演習を行う中で特性を作業を通して理解していく。現場学習で理解を深める。熊本地震の支援の方法と日常的に備えるも学ぶ。演習作業は、対象地区の川路・三穂地域の地形図を各自で作成する。活断層を地図において考える。また、演習した現地を講師の案内で回った。



【 活断層と地図の学習 】

事業効果

- ①地形や気象や活断層と備え・支援を学ぶことで、目標達成を目指しました。参加者に感想を書いてもらい、効果を把握するようにしました。地形・気象・活断層・備え・支援それぞれの分野で、学んだ効果があり、判断力と実践力を育てる効果がありました。
- ②新しく新規参加者がありました。3日間の学習会で述べ14人居ました。今回の参加者比34%を占めます。消防士防災士社協職員も居ました。一般の方で関心を持ち参加してくれた方も多かったです。
- ③参加者の声として感想を書いてもらった中に、防災について関心を持ち、参加して意識が高まったとする感想が多かったです。

【目標・ねらい】

- ①伊那谷の特性を理解し、判断力と実践力を育てる
- ②顔の見える関係づくりを構築し、ネットワークづくりを目指す
- ③防災意識の向上を図る

※自己評価【B】

【理由】

防災についての講座は、参加者を集めるのが苦勞します。今回新規参加者が述べ14人いました。それもチラシや広告を見て興味を持ってくれた方が多かったです。ネットワークの広がりがありました。内容についても参加者より評価いただきました。

今後の取り組み

今回、若い方の参加が新規参加の方で多く見受けられました。防災意識の高まりがあり、顔の見える関係づくりも出来てきましたので、感想の中にあつた、地図を使った作業学習を番外編でぜひやりたいとの声を大事に、実現できることを目指したいです。そして、来年度に向けて、女性の参加を多くするためのメニューや内容も考えていきたいと思います。今回女性の参加者は延べ6人でした。防災というと、男性のイメージが大きいですが、家庭の中での防災や、子どもへの影響も大きい女性の皆さんの参加を増やしていけることも大事と感じます。三遠南信災害ボランティアの会のつながりや、県内の災害ボランティアの会のつながりの知恵をいただきながら、今年の成果を活かし、来年度も発展させて、取り組みたいと考えています。